

# JEEFの トピック

TOPIC

冬・春

JEEFの活動の最新注目トピックをご紹介します!年に一度の大きなイベントが2つ開催され、大いに盛り上がった今季。今後も引き続き、国内外で「体験と対話を重視した環境教育」の輪を広げる活動を続けてまいります。

## !! 清里ミーティング2024を 開催しました!

年に一度、全国から環境教育者が集い、持続可能な社会づくりに貢献する人材の育成について学びあう3日間。98名の方にご参加いただき、対話と学びに満ちた時間を過ごしました。



加する人・実践者になっていく人たちの背中を押すためにできることを、4名のゲストとともに、参加者全員で語り合い、考えました。

また、参加者企画ワークショップやポスターセッション、情報交換会では、笑い声と熱気が会場を包み込み、寒さを忘れるほどの盛り上がり。清里ミーティングの中で交わされた言葉や出会いが、新たな共感の輪を広げるきっかけとなることを願っています。

2025年の清里ミーティングは、12月5日〜7日に開催が決まりました。ぜひ、会場でお会いしましょう。

## !! ESD推進ネットワーク 全国フォーラム2024

ESD活動支援センターでは、ESDの最新動向の共有及びネットワーク強化を目的に「ESD推進ネットワーク全国

フォーラム2024」を開催しました。今年のテーマは「気候変動×〇〇〇点から線、線から面へのつながりづくり」です。会場には134名、オンラインで58名が参加しました。当日は「環境教育・ESD実践動画100選」の認定授与式や堅達京子氏(NHKエンタープライズエグゼクティブ・プロデューサー)による基調講演、パネルディスカッション、30団体によるポスターセッションなどの充実したプログラムが展開されました。参加者同士で活発に議論を深め合い、お互いに学び合う様子からは、これからのESD推進ネットワークのさ





インドネシアのスタディツアーの様子



らなる発展が期待されます。

昨年閣議決定された「環境教育等促進法」の基本的な方針の変更においても環境教育・ESDのさらなる推進にあたっては中間支援組織の強化が挙げられています。ESD活動支援センターとしても、引き続きESD推進ネットワークの推進に取り組んでいきます。

## ！インドネシアのプロジェクトメンバーと、国立公園スタディツアー

JEEFでは、経団連自然保護協議会からの助成を受け、インドネシアのグヌン・ハリムン・サラック国立公園において「ジャワギボンの保全を目的とした生

態調査と環境教育プロジェクト」

を実施しています。1月下旬、現地で国立公園の保全とエコツーリズム推進に取り組むプロジェクトメンバー5名が来日し、エコツーリズム関連団体の取り組みを視察するスタディツアーを行いました。

7日間のツアーでは、4か所の自然体験施設を訪問し、プログラムを実際に体験。ビジターセンターの運営や、地域の魅力を伝える工夫について、施設職員の方からお話を伺いました。交流を通して、インドネシアでのエコツーリズムをどのように盛り上げていくか、どんなビジターセンターを作っていきたいか、メンバーの心に新たなアイデアが生ま

れたようです。

最終日には、経団連自然保護協議会を訪問し意見交換を行ったほか、JEEF事務所にて活動報告会を開催しました。報告会ではこれまでにマラサリ村を訪問したことのある方々との再会も叶い、オンライン参加者も含め60名との交流が実現しました。今回の学びが、これからの発展につながることを期待しています。

## ！インタープリテーション全体計画（IP全体計画）の策定

IP全体計画は、その地域を訪れたお客様に、伝えたい・体験してもらいたい地域の価値や魅力、背景にある歴史やストーリー、その提供方法を整理した

ものです。アメリカの国立公園では2000年頃から策定されています。日本の国立公園では、雲仙天草国立公園（雲仙温泉エリア）を皮切りに、現在多くの国立公

園において、IP全体計画を作る動きが活発となっています。

JEEFでは、日光国立公園における奥日光エリア及び那須エリアにおいて、地域の企業や行政、NPO/NGO関係者とともに、地域資源を活用した、来訪者の心に残るような体験や、伝えたいストーリーを取りまとめ、「奥まで日光を好きになるストーリー集」及び「那須を大好きになるストーリー集」を作成しました。また、環境省と共に、IP全体計画を国立公園関係者が独自に策定できるようなガイドライン作りも進めています。

「奥まで日光を好きになるストーリー集」は、ウェブでも公開しておりますので、ぜひご覧ください。

文：木村佳葉（JEEF）



「奥まで日光を好きになるストーリー集」ダウンロードページ